

Re.JAPAN

上田かずき

Vision Book | vol.02

日本の未来は、
この街からはじまる。

非売品

ひとりでは、
変えられない。
だから、
あなたと変えたい。

政治は、一人のヒーローが作るものではありません。
一人の力で変えられることなんて、たかが知れている。
だからこそ、私はあなたの力を必要としています。
あなたの声、あなたの行動、そしてあなたの存在が、
停滞した政治を動かす最大の原動力になります。
ひとりの志が、みんなの実行力と重なったとき、
社会は必ず動き出します。
この街から、日本の "予測" を書き換える。
あなたと共に、上田かずきが。

上田かずきは、 なぜ政治家になり、挑み続けるのか。

**この国の“予測”を書き換えるために、
僕は挑み続ける。**

「おかしい。変えよう。あきらめるのは、もうやめよう」私たちの挑戦は、そんな純粋な、けれど切実な思いから始まりました。

今でこそ多くの方に支えられています。当初、私には政治のイロハを教えてくれる師も、血縁も、地縁も、何一つありませんでした。共に立ち上がった仲間たちも同じです。右も左もわからない、手探りの状態。しかし、その「しがらみのなさ」こそが、私たちの武器でした。

結果、中央区議会議員選挙において、新人として過去最多得票という身の引き締まるような審判をいただき、当選を果たすことができました。あれから、あっという間の3年。なぜ、私たちは政治に関わり続けるのか。なぜ、現状維持ではなく「変革」のために戦い続けるのか。その理由を、今改めて言葉にしたいと思います。

**あなたの努力が足りないんじゃない。
政治のシステムが、足かせなんだ。**

私が最初に掲げたのは「平成世代が政治を変えていく」という決意でした。今や30代を超え、日本を支える中心となりつつある平成世代。私たちは、一度も「好景気」というものを知らずに育ちま

した。誰もが幸せになりたいと願い、懸命に生きている。それなのに、流れるニュースは暗い話題ばかりで、未来に不安しか抱けない。

はっきり言いたい。その「おかしさ」の原因は、あなたの努力が足りないからではありません。古びた政治のシステム、硬直化した構造。それらが私たちの、そして次世代の足かせになっているのです。未来のために、将来のために、戦う。その時に誓った思いは、3年経った今、揺らぐどころか、より一層強く、激しく私の中で燃えています。

「実務家」としての覚悟。

空虚な言葉はいらない。

この冊子の最後に、私が改めて策定した「ミッション・ビジョン・バリュー」を掲げました。私たちの目指すもの。それは、「この国の“予測”を書き換える」ことです。

止まらない少子高齢化、膨らみ続ける税負担、そして優秀な人材が日本を見限っていく現実。私は、この極めて厳しい現実に向って立ち向かっています。政治家として、空虚な理想を並べるつもりはありません。私は「実務家」でありたい。時には「全員は救えない」という、残酷で重い現実を突きつけられることもあるでしょう。しかし、その覚悟を持ってなお、「一人でも多くの人を救う」と

いう情熱を燃やし続ける。

中央区から、日本の未来を変えていく。「やったふりの政治」は、もう終わりにしましょう。

さあ、一緒にこの国を変えよう。あなたの力が、みんなの力が、未来を書き換える唯一のエネルギーです。共に戦いましょう。

中央区から、この国の「新しい常識」を。

中央区は23区で最も出生率が高く、人口が増え続けている稀有な街です。この恵まれたポテンシャルを最大限に活かし、ここから日本全体の予測を書き換える「成長の好循環」を実装したいと考えています。この街で成功した変革を、いつか国全体の「新しい常識」にする。その挑戦の先頭に、私は立ち続けます。

変わらない政治に終止符を打つために、あなたの力が、必要です。みんなの力こそが、未来を書き換える唯一のエネルギーになります。

**おかしいを、変えよう。
あきらめを、やめよう。**

中央区議会議員 **上田かずき**

PROFILE

経営目線で合理的な 改革を行う平成政治家



平成1年(1989年)生まれ。2人の娘を育てる父親。東京農業大学醸造科学科を首席総代として卒業後、進学塾SAPIXにて理科講師として勤務。のべ1,000人以上の子どもたちと向き合い、一人ひとりの可能性を引き出す教育の現場に立ち続けてきました。

その後、マーケティング支援の分野で起業。上場企業を含む300社以上の支援に携わるとともに、役員として複数の経営に参画。6期目での新規上場を実現するなど、数値で検証し、改善を重ねる実行力を経営の現場で磨いてきました。

2023年、非世襲・後継指名のない立場から中央区議会議員選挙に挑戦。史上最多の新人得票でトップ当選を果たし、現在は区議会議員として活動しています。

教育・経営・政治という3つの現場で、一貫して「課題を見つけ、改善し、結果を出す」ことに向き合ってきました。その実行力を武器に、中央区から未来を動かしています。

政治家として

前例に縛られず、行動で前へ。

2023年、新人史上最多となる3,196票を託していただきました。それは「いまの政治を変えてほしい」という区民の思いの表れだと受け止めています。その期待に「言葉より行動」で応えるため、平日毎日のSNS動画やライブ配信、政策集『Re.JAPAN』の作成、日々の街頭活動を継続。さらに区政初の100社超スタートアップイベントや議会初の新人議員勉強会を企画・実現してきました。政党での役職も経験した上で、現在は無所属として中央区に即した政策実現に挑み続けています。



経営者として

現実の制約下で、結果を出す実行力。

中央区でゼロから事業を育ててきた起業家として、私は常に「どう行動すれば確かな結果につながるか」を考えてきました。創業期から関わった企業では社外取締役として経営に参画し、6期目でのIPOを経験。限られた資源の中で優先順位を見極め、成果に結びつける判断と実行を重ねてきました。その経営視点を行政にも活かし、前例にとらわれず、事業や予算が本当に区民のためになっているかを検証し改善します。実務感覚を武器に、区政を着実に前へ進めます。



教育者として

1,000人の未来と向き合った、責任。

私の原点は、進学塾SAPIXの講師として1,000人以上の子どもたちと向き合ってきた経験です。子どもたちの無限の可能性と、保護者の切実な不安を現場で見してきました。いまは二人の娘を育てる父親として、子育てや仕事、住環境の課題を当事者として実感しています。制度の前に生活があるという視点を忘れず、教育現場での経験と日々の暮らしの実感を重ねながら、机上の空論ではない現実に根ざした変化を積み重ねていきます。



区政の活動実績

圧倒的な行動量で、結果を出す。

⚡「おかしい」は正し、「良いもの」は共に創る。

“健全なチェック機能の果たし手として”

政治の世界には、残念ながら「前例踏襲」や「多数派の空気」で、十分な検証もなしに決まってしまうことがあります。ですが、私はその「空気」には流されません。私が判断する基準は「区民目線で適切か」その一点だけです。もし違和感があればキチンと指摘し、その理由を皆さまに包み隠さず説明します。それが、税金の使い道を監視する議員としての、本来あるべき責任だからです。一方で、批判だけではありません。良い政策を実現するためなら、党派や党派の壁を越えて手を取り合い、議会全体のレベルを高めることにも全力を注いでいます。必要なチェックは行い、良いものは党派を超えて前に進める。その積み重ねこそが、区政への信頼を育てると信じています。



中央区議会本会議 一般質問

主な活動実績

■ 将来計画なき「場当たりの改修」への一貫した反対

築55年以上が経過する本庁舎。将来計画(ランドデザイン)が整理されないまま、巨額の税金を使う改修工事が複数回、行われています。私は「計画なき逐次投資は、経営・行政運営として無責任だ」と考え、当初から一貫して反対・問題提起を行っています。

■ 議会史上初となる「超党派勉強会」の実現

「良い政策に党派は関係ない」。その信念のもと、党派や区の枠を超えて新人議員同士の勉強会や、近隣区(千代田・渋谷)と連携した「超党派勉強会」を主宰。単なる交流ではなく、議会全体のレベルアップを目的とした「共創の場」を主導しています。

上田かずきは、政治家としての「情熱」を、合理的な「行動」に変え、具体的な「成果」を追求してきました。評論家のような提言ではなく、実務家としての解決策を。これまでの活動の中から、主な成果(トラックレコード)をご報告します。

⚡「学校」と「民間」の協業を通し、子どもの可能性を最大化。

“元SAPIX講師・当事者パパとしての突破力”

委員会質疑で私が訴えてきたのは、理想論ではなく「都心区のリアルな現実」への直視です。多くの子が中学受験をする中央区において、「学力は塾や個人学習で伸ばし、学校は集団生活や心を育む場とする」という役割分担こそが、子どもの負担を減らす現実解だと提案してきました。あわせて、保育園と幼稚園の教育格差の是正や、本物の味を知る食育の推進も予算化が進みつつあります。また、座学だけが教育ではありません。スポーツや本物のアートに触れる原体験が、AI時代を生き抜く感性を育てます。元SAPIX講師としての現場感と経営者としての企画力で、教室の内外から中央区の教育をアップデートし、子どもの可能性を拓きます。



城東小学校(ヤエスク) イベント来賓挨拶

主な活動実績

■ 「塾との共存」を公式答弁へ

「高学年の大半が通塾している」という現実をデータで示し、教育委員会の方針を転換。学校と塾が対立せず連携する体制づくりへ、道筋をつけました。

■ ACミランを招致! 「世界レベル」のスポーツ教育

行政の手が届きづらい分野は、私の民間ネットワークで補完します。今年は八重洲ミッドタウンにイタリアの名門「ACミラン」を招致し、子供たちに世界最高峰のサッカー体験を無償で提供いただきました。

区政の活動実績

圧倒的な行動量で、結果を出す。

⚡ 商人のまちのDNAを、次世代の「成長エンジン」へ。

江戸から続く伝統を、次世代の産業育成でつなぐ。

「江戸から続く商人のまち」とは、過去の栄光ではなく、常に最先端を取り入れ変化してきた歴史そのものです。だからこそ中央区は、日本の中心であり続けてきました。私はゼロから上場まで経験した起業家として、挑戦者が直面する「資金」と「信用」の壁を誰よりも理解しています。行政支援は“やったふり”であってはならない。形骸化した制度を実務家視点で見直し、現場が本当に使える仕組みへと再構築してきました。

これから目指すのは、老舗の「信用・歴史」とスタートアップの「技術・熱量」が融合する、世界に誇れるエコシステムの形成。伝統を守りながら新しい風を取り込み、官民連携でこのまちを再び日本経済を牽引する“熱源”へと進化させます。



区長への予算要望

主な活動実績

■ 実効性のある「資金・実務支援」の拡充

現場のニーズに即し、HP作成費補助を「6倍(5万→30万円)」に増額。さらに商工業融資の限度額を「最大600万円」引き上げ、挑戦する事業者の資金繰りとDXを強力に後押ししました。

■ 区長も出席。本庁舎初の「スタートアップイベント」

東京商工会議所をはじめ、様々な企業のお力をお借りし、中央区初となるスタートアップイベントの開催を主導。当日は中央区役所 本庁舎にて、区長出席のもと、100社が一同に会する非常に密度の高い、有意義な場を創出することができました。

⚡ 徹底した「情報の透明化」。

“顔が見える・声が届く、新しい政治の基準”

本来、政治はもっと皆さまの暮らしの「そば」にあるべきものです。日々の忙しい生活の中で、わざわざ調べなくても、重要な情報が自然と手元に届く。それが、これからの政治家に求められる新しいスタンダードだと考えます。だからこそ、私は徹底的に、手軽に情報収集や相談ができる状態にこだわります。24時間365日相談可能な「LINE公式アカウント」、反対討論の裏側や、区の本質的な課題を明らかにする「note詳細解説」、そしてリアルな熱量を伝えながら対話する「ライブ配信」。これらは単なる広報ツールではなく、皆さまとの信頼を結ぶための「ライフライン」です。

デジタルで情報を届け、現場で直接語り合う。この両輪を回し続けることで、政治をあなたの日常に届けます。



日々の街頭活動

主な活動実績

■ 「会いに行ける政治家」の実践(街頭活動スケジュールの完全公開)

「いつでもどこにいるか」をWebで事前に完全公開。一方的な演説ではなく、有権者が直接意見を言いに来られる「対話の場」をまち中に作り続けています。

■ 平日毎日の「ショート動画」による活動報告

忙しい現役世代のために、活動内容をショート動画に凝縮して平日毎日配信。「見たい時にいつでも見れる」コンテンツで、区政への関心を喚起し続けています。

政治家としてやりたい事

持続可能な社会へ

スリムな行政へ 転換する

人口動態に合わせた効率的な予算・行政組織へ転換します。経営目線で徹底的に最適化を行い、次世代に負担を残さない「筋肉質な行政」をつくり出します。

未来へ 徹底投資する

人材育成に対する支援を抜本的に拡充し、日本の未来へ投資します。効率化で生み出した財源を「人」へ振り向け、挑戦する人が報われる希望のサイクルを回します。

所得を 最大化する

1人当たりのGDPを伸ばすための産業構造の変革を加速させます。頑張る人が正当に報われ、誰もが豊かさを実感できる「稼ぐ力」を最大化します。

中央区は、23区内で最も出生率が高く、人口が増え続けている、極めて恵まれた街です。しかし、今あるこの豊かさを、私たちは次世代の未来のために真に活かしているのでしょうか。私は、この恵まれた環境がある今こそ、日本全体を変えるための「未来への好循環」を、ここ中

央区から実装していきたいと考えています。中央区が持つ圧倒的なポテンシャルを解放し、この街から、この国の予測を書き換えていく。上田かずきが示す「実行の政治」に、ご期待ください。

政治家として
やりたい事

政策 01

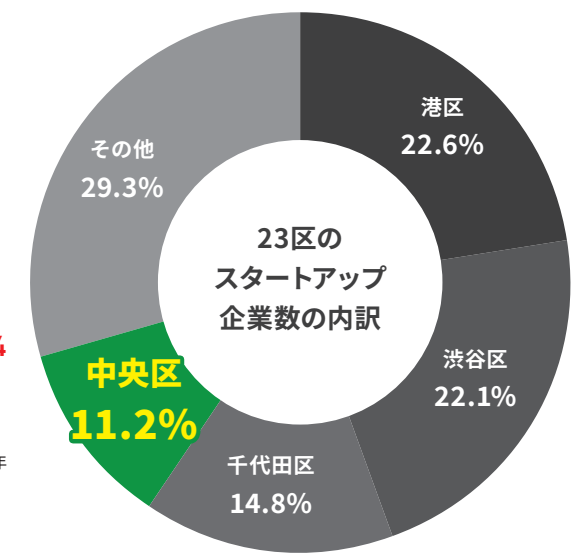
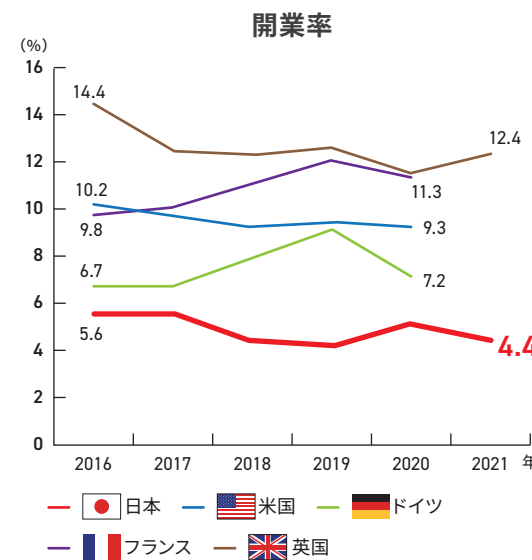
稼ぐ街をつくり、所得を最大化する

新産業育成

人口減少が続く中、少子化対策は極めて時間がかかり、ライフスタイルの多様化もあってこの流れは避けられません。生産年齢人口が減っていく中でも、医療や年金、介護をはじめとした社会保障を維持していくには、増税ではなく一人当たりの生産性を高める以外に道はないのです。生産性を高めるには産業構造の変革が必要ですが、米GAF4社の時

価総額が日本の上場企業全てを凌駕する現実、日本の停滞を如実に物語っています。中央区は都心を預かる立場として、この街から「稼ぐ力」を最大化し、イノベーションを牽引しなければなりません。現状はそのポテンシャルを活かしきれておらず、産業支援策は他区に後れを取っています。

主要国における開業率の推移



出典：科学技術・学術政策研究所

出典：帝国データバンク

解決の方向性

中央区を、日本を牽引する「イノベーション実装拠点」へ。スタートアップ支援を加速させ、伝統的な商工業と次世代産業を融合させることで、中央区から日本全体の産業構造をアップデートし、強固な経済基盤を築きます。

政策

02

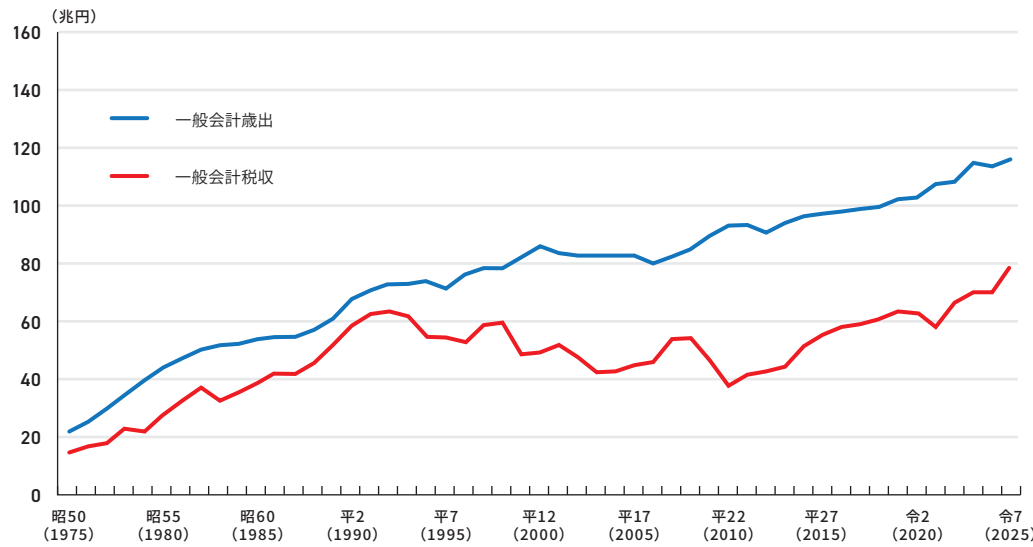
民間ができることは、民間がやる政治

行財政改革

目 本の予算は右肩上がり続ける一方、人口は2008年をピークに減少。昨年も約80万人が減る中、予算は増え続け、組織が膨張しています。中央区も例外ではなく、過去最高の予算を更新し、新規事業も次々に立ち上げています。しかし、過度な行政肥大化が進む現状は民間活力を阻害しかねませんし、人口動態に逆行して行政が膨張し続けることは、

将来的に持続不可能なシステムを生むリスクを孕んでいます。豊かな財政に甘んじることなく、今こそ組織の在り方を抜本的に見直さなければなりません。旧態依然とした体制が変革の足かせとなっています。民間にできることを行政が抱え込み、スピード感の欠如が深刻な「仕組みの歪み」を生んでいるのが、私たちが直視すべき現在の課題です。

一般会計税収、歳出総額及び公債発行額の推移(当初予算ベース)



出典:財務相 財政に関する資料

解決の方向性

民間にできることは民間に任せ、行政は収益化が困難な「公共領域」へリソースを集中させます。組織を民間並みのスピード感へと刷新し、徹底したDXによって旧態依然とした体制を打破します。

政策

03

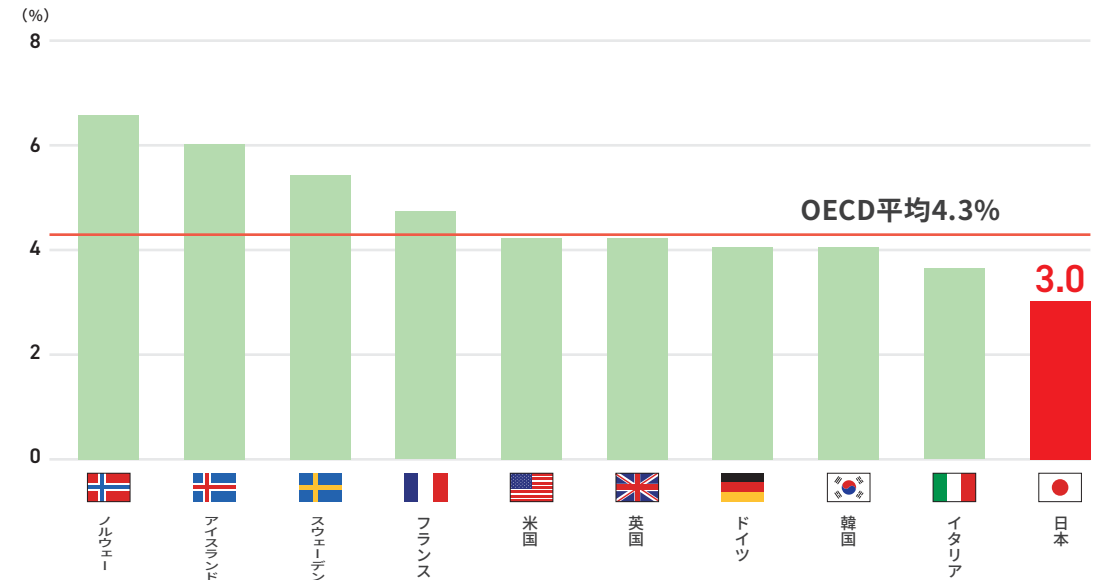
最も費用対効果が高い「投資」

教育・人材育成

目 本の公教育予算はOECD諸国で最低水準にあり、教育現場の疲弊とニーズの乖離が深刻です。学校を単に「登校させ、管理する場所」と捉える旧来の価値観では、一人ひとりに寄り添った未来志向の「学び」を生み出せません。さらに不登校児童生徒数はこの10年で約12万人から約35万人へと約3倍に急増。画一的なシステムの限界が露呈してお

り、登校の有無に関わらず学びを継続できる仕組みの欠如は、多くの子どもたちの可能性を閉ざす結果となっています。教育が「社会に必要な人材育成」という本来の役割から遠ざかり、未来への投資としての機能を果たせなくなっている現状は、この国の衰退につながりかねない、極めて重大な課題です。

公財政教育支出対GDP比(2020年)



出典:財務省 文教・科学技術 参考資料(2023年10月11日)

解決の方向性

登校の有無に関わらず学びを継続できる環境を早期に構築し、学校を「社会と繋がる学び場」へと刷新します。さらに教科別担任制や自由進度学習を軸に、多様な大人を教育現場に混ぜる仕組みを作り、公教育の価値を抜本的に高めます。

採用情報

共に社会を変える、仲間を募集しています！

「投票」以外の方法で、このまちの未来を動かす。まずは週末だけ、空いた時間だけでも構いません。私たちと一緒に、少しでも新しい一歩を踏み出してみませんか。

01



多様な「プロ」が混ざり合う、 化学反応の場

ここには、肩書きや年齢を超えて学び合い、視野を広げられる出会いがあります。互いの強みを吸収し、高め合える、大人のための学び場です。

02



「本業」を辞めずに、 社会を変える。

政治活動のために、生活を犠牲にする必要はありません。隙間時間や週末だけでも参加できる政治参加。あなたのペースで関わられます。

03



場所に縛られない、 フルリモート体制

IT経営者として培ったフルリモートのノウハウで、全国どこからでも参加できる環境を整えています。距離を越えて、志ある仲間とつながれます。

04



「やりがい」に甘えない、 持続可能なチーム作り

貴重な時間とスキルには、正当な対価を。無償に頼らない、持続可能なチーム運営を行っています。
※公職選挙法に基づき、支払いは政治活動期間のみです。

業務内容

役割は、あなたに合わせてデザインします。
ここに挙げたのは、ほんの一例に過ぎません。
私たちは、あなたの「得意なこと」や「やりたいこと」を尊重し、最適な役割を一緒に考えます。
「自分に何ができるかわからない」という方も、まずは一度お話しませんか？
あなたのスキルが活躍の場が必ず見つかります。



広報・SNS運用
アシスタント



街頭活動
スタッフ



政治秘書



クリエイター

※公職選挙法に基づき、選挙がない時期＝政治活動期間に対してのみ、対価のお支払をしております。予めご了承ください。

会費

未来をともに切り拓く「サポーター」を募集しています。

政治に必要なのは、一瞬の勢いより継続する力です。そのためには、どうしても一定の活動費がかかります。私たちの挑戦を共に歩んでいただくため、サポーターとしての参画をぜひお願いします！

	ライト会員	スタンダード会員	プレミアム会員
月会費	¥ 1,000	¥ 3,000	¥ 10,000
マイページ	○	○	○
後援会通信	○	○	○
総会の参加	○	○	○
特別名刺	—	○	○
限定チャットへのご招待	—	○	○
限定食事会へのご招待	—	—	○
イベント優先参加権	—	—	○

マイページ：ご自身のマイページが作成され、イベント情報などが配信されます
後援会通信：年に1回、頂いた会費の収支報告と今後の活動方針が共有されます
総会の参加：年数回行われる、方針発表会にて意見を伝えることができます
特別名刺：メンバーシップを証明する名刺を作成し、お送りします
限定チャット：区政に限らない、様々な政治全般の質疑応答が限定メンバーにて行えます
限定食事会：年2回、特別な食事会にご招待します
イベント優先参加権：優先的に参加権が得られ、また優先席が用意されます

会費はクレジットカード払い/
コンビニ決済/口座振替が利用可能です

申込はこちら！



応援よろしく
お願いします

いただいたご寄付の使い道



政策レポート・広報物の制作費

政策を分かりやすく伝え、より多くの関心を生み出すためのチラシや動画などを制作します。



活動を支える人件費

専門的なスキルを持つ仲間たちが、安心して活動に集中できる環境を整えます。



事務所運営費・活動諸経費

地域の皆様との対話の場となる事務所の維持や、日々の活動に必要な経費に充当します。

各種SNS

活動をぜひSNSでもチェックしてください！



ショート動画を中心に発信しています。両プラットフォームでは基本的に同じ内容を掲載し、より多くの方に日々の活動や考えを届けています。

Instagram ▶▶▶ 

TikTok ▶▶▶ 



街頭活動情報も含め、日々の動きや速報性のある情報をタイムリーに発信しています。





ショート動画に加え、定期的にライブ配信を実施。政策や取り組みについて、より深く・リアルタイムでお伝えします。





論点整理や重要なお報告など、内容をしっかり伝えたいテーマを中心に、不定期で更新しています。





お気軽にご相談ください

直接・個別にご相談いただくための窓口です。他のSNSよりも距離が近く、より具体的なやり取りを行う場として運用しています。





政策・実績をより詳しく！

- 掲げる政策を分かりやすく解説
- これまでの活動の軌跡を詳しく掲載

この続きは、ぜひ公式HPでご覧ください



理念

上田かずきは、高い志をもって、皆さまと共に挑みます。

PHILOSOPHY

上田かずきの理念と哲学



Value 01 前例より意味。慣習より目的。

「なぜやるのか」を常に問い、形骸化した慣習に流されず目的を軸に行動します。

Value 05 透明にする。隠さない。

決定プロセスを可能な限り公開します。説明責任から逃げず、常に誠実に向き合います。

Value 02 データで判断し、感情で動かない。

事実と数字を直視し、最も合理的な選択肢を導きます。空気ではなく根拠で判断します。

Value 06 チームで挑み、個人で抱えない。

個々の得意を活かし、周囲を巻き込みます。チームの知恵を融合させ、最善の解を出します。

Value 03 生活者の現実から離れない。

会議室の正論より現場の違和感を優先します。ひとりの人生を想像し、政策に反映します。

Value 07 多様性を力に変える。

異なる世代や背景を歓迎し、意思決定に取り込みます。多角的な視点で質を高めます。

Value 04 まず動く。言い訳しない。

評論家ではなく実務家として、小さく試し、改善を繰り返しながら最速で前へ進みます。

Value 08 最後は「自分の名前」で責任を取る。

自らの名前でサインできる決断か自問します。結果から逃げず、すべての責任を負います。

中央区議会議員

無所属
上田かずき
うえだ

Re.JAPANとは?

Reは「再び」の意味を持つ接頭語。Remind Reborn Restructuring など様々な様々な手法を通し、「希望ある日本を、再び」という想いをタイトルに込めました。